



friendship force TOKYO

ニュースレター第133号 フレンドシップフォース 東京 2022年11月

第32回「friendship force 日本大会 In Niigata」

会長 佐藤 寿美子

3年ぶりに開催された日本大会。総勢160余名の会員が集まり、感染を気にしながらも素晴らしい大会になったこと、新潟クラブの皆様には厚く御礼申し上げます。まるで同窓会のように言葉を交わす皆様の姿は明るく輝き、嬉しさを抑えきれないほどの活気と喜びに満ちておりました。

オープニングは、新潟クラブ会長 吉森巖氏をはじめ、FFI 会長 Jeremi Snook 氏、来賓の皆様からの挨拶で始まりました。続く記念コンサートでは箏と尺八による演奏がありました。初日のパーティーは静かに終了しました。ロビーでは新潟クラブ会員による手作り品が販売され、売上金はウクライナに寄付されるという事でした。

二日目は朝食後、写真撮影、そして全体会議。休憩をはさんで経済評論家 須田慎一郎氏による記念講演、昼食。食後の分科会では3つのテーマが話されることになり、メンバーも場所も都度変わります。「グループ内で一部の方が時間を占領することがない様、ご協力をお願いします。」とプログラムに記

載があったように、参加者全員が発言する機会を持ったことは大変意義のある事だったと思います。その後ブロック会議が開催され、皆様へとへとでした。最終日のパーティーでは、歌あり、踊りありの展開で、大会はピークを迎えました。



Zoom になって多くの方々の面識を得ました。今回直接お目にかかる機会を得たことは大きな喜びでした。このような会を開催できたことはひとえに平和な世の中であるからだと感じます。楽しい思いをしている人たちがいる一方で、今も戦争の恐怖にさらされている人たちがいるという現実を受け入れがたいものです。



「私たちの活動は本当に世界平和に貢献しているのだろうか」改めて考える機会を持つことになった大会でもありました。

ホームステイは若者の特権だと思っていた。25年前、友人の紹介でFFの活動を知った。こんな年に、天にも昇る心地で参加し、その都度素敵なおもてなしを受けた。受入時はこちらのお返しを心がけている。▼入会翌年に受入れたオーストラリアからのご夫婦とは今でも交流が続いている。▼受入3年後にオーストラリアとニュージーランドの交換に参加した後、数日ステイさせて頂いた。更に3年後、息子の結婚式でオーストラリアに行つた際、姉も含めてランチをご馳走になりワインで乾杯。▼4年後には彼らが豪華客船で横浜港に寄港するとの連絡が入り、主人と飛んで会いに行った。桜が満開の時期、上野や千鳥ヶ淵などを案内して再会を楽しんだ。▼東京とシドニーの距離を越えて4回もお会いでき、こんな素晴らしい友人ができたのもFFのおかげ。改めてFFの絆に感謝している。(T.K)

かけはし

10 月 26 日～28 日

第 32 回 日本大会 FF 新潟クラブ主催

参加者総数 163 名、東京クラブからは 9 名。オープニング式典、全体会議・分科会・ブロック会議に引き続き、28 日は 4 コースに分かれてエクスカージョンが催されました。

3 年ぶりの日本大会

堤 由紀枝

この第 32 回日本大会は、フレンドシップフォース本来の、渡航・受入や世界大会・日本大会のできなかつた 3 年間の全会員の気持ちを汲んで、果敢に新潟クラブが開催してくれた大会だったと思う。他クラブの顔見知りの方たちとはもちろんのこと、初めての方とでも和やかな会話が弾み、この 2 泊 3 日は本当に我々の結束をさらに強くしてくれた。パーティーの歌や踊りを披露する場で、その輪の中に他クラブの人たちも一緒に入り、FF ならではの**チーム一丸**をつくづく感じた。あーっ、新潟クラブの吉森会長の狙いはこれだった！のだ。



伊藤邸訪問

高橋 亜紀

2 泊 3 日の新潟クラブ開催日本大会は素敵な思い出となった。最終日のエクスカージョンは豪農の館巡りを選択。FFI 理事、FF 新潟クラブ会長を長年務められた 8 代伊藤文吉氏(故人)の、今は北方文化博物館となっている伊藤邸を訪問。美しい庭を堪能できる大広間や、樹齢 150 年の藤の大木に圧倒された。伊藤家に従事されていた 60 人余の従業員が過ごしていた部屋や台所にも興味を持った。また、今回特別に我々 FF 会員のみ、伊藤氏の仏壇を拝む機会を得た。新潟クラブが 40 周年を迎えることができたことを伊藤氏に報告し、さらなる FF の飛躍を祈り、新潟を後にした。



信濃川クルーズ

西岡 光世

信濃川は日本一長い川で、上流の長野県では千曲川と呼ばれている。まず川沿いにある“みなとピア”と呼ばれる歴史博物館エリアで、繁栄した新潟港の歴史を学び、税関庁舎、石庫（いしぐら・荷物を一時保管する場所）など、当初のままに復元された建物を見物した。そこから小型の水上バスに乗り、川上に向かい、コシヒカリで有名な田んぼの風景を楽しんだ。お米は収穫後であったがやや小柄な白鳥が大小の群れを成し、えさをついばんでいた。1 時間ほどいくつかの橋、県庁を見て“ふるさと村”で下船、FF の他のグループと合流し、昼食と歓談を楽しんだ。



2023 年 渡航・受入の予定

2023 年 東京クラブが受け入れるのは・・・

4 月

ソウル
(韓国)



東京クラブでは 2019 年に渡航。

ソウルとは朝鮮語で首都を意味し、中枢都市として 1000 年以上の歴史を持っています。韓国の経済発展に伴いソウルの人口は急増を続け、人口密度は東京の約 3 倍です。強力な経済力を特徴とし、経済都市としての国際的重要性も大きいです。

1988 年にはアジア
では 2 番目となる
オリンピック開催地
となりました。



10 月

ノースモートン &
ブルーマウンテンズ
(オーストラリア)



ノースモートンはオーストラリアのクイーンズランド州の州都ブリスベンのすぐ北にあり、サンシャインコーストに向かって北に向かうと、このノースモートン地区を通過します。文化と歴史に富んだ地域です。

ブルーマウンテンズは世界遺産国立公園内の都市です。シドニーの西約 100km に位置し、オーストラリアの自然の驚異の一つで、ブッシュウオーク、渓谷の景色、砂岩の断崖、ジェノラン洞窟など人気の観光地です。



2023 年 東京クラブが渡航するのは・・・

6 月

ノースランド
(ニュージーランド)



ノースランド最大の都市ファンガレイは、オークランドより北 150km にあり、地区の人口は約 8 万人です。市内には楽しく過ごすスポットはたくさんありますが、観光としては壮大なベイオブアイランズ、マタコヘカウリ博物館、ファンガレイ滝なども有名です。気候は亜熱帯で、夏の気温は 20-26℃、冬は 14-18℃と大変過ごしやすいところです。



9 月

セントラルアリゾナ
& サンフランシスコ
ベイエリア (USA)



セントラルアリゾナには全国的に有名なハード博物館、砂漠植物園、フランクロイドライトセンターや遺跡を楽しむことができます。

サンフランシスコベイエリアは、サンフランシスコ湾とサンパブロ湾を囲む地区で、端からもう一方の端まで長距離運転を要するところです。気候は穏やかで、「地中海」と表現されるほどですが、一年中涼しいところのため、常に上着を着用しています。



★なお、他クラブの 2023 年の渡航・受入の予定は FF 日本のホームページをご覧ください。

【神奈川地区懇親会】

故きを温ねて（鎌倉散策 10/14）

田中 浩代

総勢 11 名で鎌倉駅から徒歩で旧前田侯爵別邸の鎌倉文学館へ。文豪達の直筆原稿や庭園のバラを愛で、次に川端康成も通った「つるや」で鎌倉彫の器の鰻重を堪能。タレが甘すぎずふっくらとした鰻はもう一杯いけた！ FF 歴の長い皆様から古の活動の一端を伺い活動の歴史を感じた。

その後、造立 1300 年を迎えた長谷寺にて十一面観音と穴場の弁天堂（十六童子の彫刻がある）をお参り。岡田さんの事前調査が行き届き、故きを温ね各々の今後の活動に想いをはせ、大満足の 16368 歩！であった。



おしらせアラカルト

- ◇ Facebook を 10 月から導入しました。
- ◇ 来年度の総会は諸事情を鑑み、書面議決となります。
- ◇ 来年度の渡航・受入の AC・AAC、HC・AHC を募集しております。事務局までご連絡ください。

【編集後記】

美術館の学芸員曰く、浮世絵の「見返り美人図」はまさに温故知新を具現化している。過去を振り返りつつ歩みを前へ進め新しい知識を求め。



これぞ FF がこれまでに築き上げてきた過去の歴史から学び、それを未来の活動に生かしていく姿勢に通じると思う。

2023 年 Calendar

4 月	ソウル(韓国)	受入
6 月	ノースランド (ニュージーランド)	渡航
9 月	セントラルアリゾナ & サンフランシスコ バイエリア(USA)	渡航
10 月 2~5 日	世界大会開催(クロアチア)	
10 月	ノースモートン & ブルーマウンテンズ (オーストラリア)	受入

【会費納入のお願い】

銀行名：ゆうちょ銀行
口座名：ザ・フレンドシップフォース・オブ・東京
口座記号：00150-0
口座番号：650299

【問合せ先】FF 東京事務局

fftokyojimukyoku@gmail.com

TEL：0466-87-9305



編集・発行 フレンドシップフォース 東京

〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子 4-14-8

ホームページ <http://fftokyo.wp.xdomain.jp>

TEL & FAX 044-844-9128